

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
2023年度 事業計画書
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

2023年度の事業計画について、次の視点から策定する。

- 1 博覧会開催を見据えた取り組みの具体化とその推進
- 2 博覧会の機運醸成に関する事業の実施
- 3 公式参加者への対応と支援
- 4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

主な事業については、以下のとおり

- 1 博覧会開催を見据えた取り組みの具体化とその推進

- (1) 企業・団体等の参加計画

- ア 企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意する事で、多くの参加を促す
 - イ 民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンの実現に向け、協議を重ねる
 - ウ 催事協賛プロモート開始を見据え、催事特典の検討をすすめる
 - エ キャッシュレス決済及びデジタル地域通貨サービスを効率的、効果的に運営する
 - オ 協会公式クラウドファンディングを募集し、万博への参加意識を醸成する

- (2) 協会テーマ事業の具体化

- ア テーマ事業の建築計画・展示企画等の具体化をプロデューサーと協働して行う
 - イ ますますの万博の機運醸成を図るため、テーマ事業の進捗をウェブで発信する等、テーマ事業の効果的なPR活動を展開する

- (3) 未来社会ショーケース事業の具体化

- ア スマートモビリティ万博
会場内外における人荷の輸送・移動等における未来技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図る
 - イ デジタル万博
来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、

企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図る

ウ バーチャル万博

国内外の幅広い層が万博を疑似体験できるバーチャル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図る

エ アート万博

会場の景観や歩径路などを、先進エンタテインメント技術の実証・実装する催事の場合と捉え、引き続き企業・団体等との連携を強化し、事業の具体化を図る

オ グリーン万博

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図る

カ フューチャーライフ万博

会場内「フューチャーライフパーク」での取組を具体化するとともに、来場者が未来の都市や未来の食・ヘルスケア等を体感できる先進技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携を更に強化する

(4) 会場整備

ア 会場施設の建築工事着手

イ 仮設インフラ工事の継続実施

ウ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

エ 障がい当事者の参画によるユニバーサルデザインの取組みの継続実施

(5) 来場者輸送対策の具体化

ア 来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画の具体化を推進

イ 来場者輸送具体方針に基づき、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、関係機関と共に一般交通への働きかけの検討・対策を推進

ウ 会場外駐車場の運営方策の具体化を図るとともに工事発注する

(6) 催事計画の具体的推進

ア 催事基本計画に基づき、万博に相応しい行催事の概要や編成方針、推進体制などの具体化を図る

イ ナショナルデー及びスペシャルデーのイベントガイドラインに基づき、参加国・機関を募集する

(7) テーマウィークの推進

ア テーマウィークの内容について、具体化を図るため国や有識者と連絡・調整を行う

(8) 持続可能性管理システム (ESMS) の構築と運用

- ア 持続可能性方針を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標について検討・整理し、持続可能な万博運営に係る取組を具体化して、ISO20121 に準拠した ESMS を構築し、運用する
- イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等について継続的に検討を行う

(9) 万博 ICT システム及び万博通信インフラの整備

- ア 万博 ICT-PF システムについて、チケット販売開始時に必要な機能の受入試験を経て運用を開始する。また、入場予約開始時に必要な機能に関して設計・開発・テストを開始する。
- イ 万博における情報通信インフラの詳細設計を行い、インフラ構築を開始する。

(10) 万博におけるサイバーセキュリティ対策

- ア サイバーセキュリティ基本計画に基づき、セキュリティ関連システムの構築/運用/会期中オペレーションに向けた検討を行う。

(11) データ利活用に向けた取り組み

- ア データ利活用ガイドラインを制定し、出展者等からの申請受付を開始する。また、データカタログ制作やデータ連携に向けたシステム間の調整を進める。

(12) 来場者サービス・会場管理の具体化

- ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討
- イ 情報提供サービスの検討
- ウ ユニバーサルサービスの検討
- エ ボランティアの検討及び募集
- オ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討
- カ 営業施設の配置や事業収支の検討
- キ 場内輸送の検討
- ク 物流に関する検討及び実施

(13) 入場券・パビリオン予約に関する取組

- ア 入場券制度（券種・価格・販売枚数・購入方法等）の決定
- イ 販売関連システムの構築
- ウ 販売体制の構築

- エ 販売戦略の策定・実施
- オ パビリオン予約制度の決定
- カ パビリオン出展関係者、公式参加者との調整

(14) 危機管理体制の構築

- ア 会場警備対策
- イ 災害対策
- ウ 医療救護体制
- エ 会場衛生対策
- オ 事業リスク対策

(15) 迎賓・接遇体制の構築

- ア 賓客接遇のカテゴリー別の検討
- イ 迎賓館運営
- ウ 日本館との連携
- エ 賓客の警護体制

2 博覧会の機運醸成に関する事業の実施

(1) 戦略的PRの実施

- ア ロゴマークやキャラクター等を活用したライセンス事業の展開
- イ アンバサダー、スペシャルサポーターを活用した機運醸成活動の実施
- ウ 公式テーマソングの認知・利用拡大を図る
- エ ラッピング車両などにより万博ビジュアルの露出拡大を図る
- オ 小・中学生向け教育プログラム事業の実施
- カ 万博教育旅行誘致に関し、国・自治体と連携を図りつつ、取り組みの具体化を図る
- キ 観光関係団体等との連携により、海外向け観光プロモーションや情報発信に係る取り組みについて、内容の具体化を図る

(2) 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

- ア TEAM EXPO 2025 プログラムの推進
- イ 自治体と連携したイベントなどの実施
- ウ 開幕2年前イベント及び500日前イベントなどの実施

(3) 広報活動の実施

- ア 各種メディアを活用した広報の実施

- イ 公式ホームページ、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信
- ウ 海外広報の促進

3 公式参加者への対応と支援

(1) 公式参加者への対応

- ア 万博の成功に向け、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う
- イ 昨年度に引き続き International Planning Meeting（国際企画会議）を6月に開催するとともに、秋には International Participants Meeting（国際参加国会議）を開催し、最新情報を提供するとともに、理解促進、出展準備の加速、参加国内における機運醸成の促進を図る
- ウ 公式参加者宿舎の決定及び宿舎管理・運営方策の検討を行う

(2) 公式参加者への支援対応

- ア 特別規則について、政府と連携を図り2023年度中に BIE 総会で承認を得る
- イ 公式参加者ポータルについて、機能の拡充及び対応業務範囲の拡大を図る
- ウ 公式参加者ワンストップショップのさらなる体制整備を図りながら、運営を推進する

(3) 途上国支援プログラムの構築

- ア 政府と予算協議を行いつつ、政府からの委託等を受けて事業を実施する関係機関（JICA 等）とも連携を図りながら、支援の内容を具体的なものとするためのプログラムの企画・調整を進める

4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

(1) 事務局体制の整備・強化

- ア 効率的・効果的な事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等
- イ コンプライアンスの強化及び徹底

(2) 財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

- ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達
- イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減

(3) 財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

- ア 寄附金の募集・拡充に向けた取り組み

イ 補助金等各種資金の活用